

2016年(平成28年)12月16日(金曜日)

## 大立山制作 知事らへ提訴

### 生駒の市民団体 監査請求却下受け

今年1と2月に奈良市で催されたイベント「奈良大立山まつり」で山車の制作を巡って不正があったとして、生駒市の市民団体「見張り番・生駒」が15日、実行委員会長の荒井知事や、

山車を制作した彫刻家の藪内佐斗司氏らに対し、3000万円の損害賠償を求め、訴えを地裁に起こした。住民監査請求が却下されたため提訴に踏み切った。訴状では、実行委が企画

、運営事業者を公募する前の昨年9月、県幹部が藪内氏を訪ねて打ち合わせをしており、知事が懇意の間柄の藪内氏に制作させたとして、手続きの違法性を指摘している。

荒井知事は同日の定例会見で「(藪内氏に)制作をお願いしたい気持ちは全くなく、たまたまそうなった。誰に頼んだらいい」と示唆したこともない」と話した。